

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
医療人スキルアップセミナー		基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	4
担当教員		実務経験				
弘 美佐子						
講義概要						
代替医療としてのアロマセラピーを学習し、精油を安全に取り扱うことができるようになる。						
講義目標						
【一般目標】	代替医療としてのアロマセラピーの役割を理解する。					
	精油が身体・精神に及ぼす影響を理解する。					
【行動目標】	代替医療の役割を説明できる。					
	精油の生理的作用、禁忌と適応、法令を説明できる。					
	アロマセラピーのクラフト作成ができるようになる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション・アロマセラピー概要					
2	精油の使用上の注意事項及び禁忌・各精油の知識・予防医学とセルフメディケーションについて					
3	精油の抽出部位と抽出方法 各精油の知識・セルフメディケーション					
4	キャリアオイルの役割と条件・種類① 各精油の知識					
5	キャリアオイルの種類②と脂肪酸について 香りと神経系・各精油の知識					
6	ブレンドの比率と香りの相性（グルーピング）・精油の算出方法					
7	予防医学とセルフメディケーション 化粧水作成					
8	香りの伝達経路（脳と嗅覚）各精油の知識 予防医学とセルフメディケーション					
9	トリートメントについて 皮膚の基礎解剖生理学と皮膚への精油の吸収					
10	トリートメントの禁忌・香りと循環器の基礎解剖生理学					
11	香りの歴史①・各精油の知識 香りが与える呼吸への影響					
12	香りの歴史②・各精油の知識 リンパの流れとリンパ節について					
13	オイルトリートメント体験（着替え・タオル必要）					
14	精油の安全性：毒性と刺激 各精油の知識					
15	まとめ/講義内試験					
指定教科書			参考図書			
Essential Oil Guide Book アロマコーディネーター講座 予防医学とセルフメディケーション編			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
成績：前期50%＋後期50%＝100%			実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じる バスタオル、ハンドタオル(お風呂で体を洗うサイズのもの) ※バスタオルは第11回目ごろに使用するため、初回は不要 連絡先：bodymall.335@gmail.com			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
学習支援セミナー		基礎科目	Ⅱ部1年	講義	15	1
担当教員		実務経験				
小財知幾 辻宏文						
講義概要						
講義内容を理解し、試験で結果を残すことができる学習方法を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	講義内容をインプットし、アウトプットする方法を知る。					
	試験の結果から、今後の学習方法を修正する必要性を知る。					
	計画的な学習計画の必要性を知る。					
【行動目標】	講義内容をインプットし、試験で問われた際に解答できる。					
	試験の結果から、学習方法を修正することができる。					
	試験に向けて学習計画を立て、実行することができる。					
回数	授業内容					
1	勉強方法と試験関係スケジュール					
2	第1回_中間テスト(解剖学Ⅰ)および課題演習					
3	第2回_中間テスト					
4	第2回_中間テストフィードバックと定期試験に向けて					
指定教科書			参考図書			
なし			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
成績: 第1回中間テスト(解剖学Ⅰ)および講義内提出物 100%			なし			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
自然科学		基礎科目	Ⅱ部1年	講義	15	1
担当教員		実務経験				
田中 嵩樹		回復・療養型リハビリテーション病院において整形的理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
理学療法士に必要な基礎知識として、数学、物理、生物、化学をおさらいする。						
講義目標						
【一般目標】	力の合成・分解、速度と加速度について概要を知る。					
	DNA、遺伝子、遺伝の法則について概要を知る。					
	元素記号、酸と塩基、酸化と還元について概要を知る。					
【行動目標】	計算や力の合成・分解、速度と加速度について算出できる。					
	DNA配列と遺伝の法則について選択または説明できる。					
	元素記号、酸と塩基、酸化と還元について選択または記述できる。					
回数	授業内容					
1	数学①：百分率、分数、小数					
2	数学②：比例、等式＋テスト					
3	物理①：力の合成と分解					
4	物理②：速度と加速度＋テスト					
5	生物①：人体構造基礎、遺伝子とDNA配列					
6	生物②：染色体と遺伝の法則＋テスト					
7	化学①：元素記号と酸・塩基					
8	化学②：酸化と還元＋テスト					
指定教科書			参考図書			
なし			なし			
評定方法			準備物・注意事項			
成績：講義中に実施する小テスト4回＋課題で100％			なし			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
医療英語		基礎科目	Ⅱ部1年	講義	15	1
担当教員		実務経験				
内原 由佳子		病院・通所リハ・老健に計3年、整形外科クリニックにおいて10年間従事。				
講義概要						
医療従事者として臨床に関係する英単語について学習する。						
講義目標						
【一般目標】	理学療法に関する医療英語を知り、理解する。					
	人体構造や関節運動、基本動作の医療英語を知り、理解する。					
	疾患やリハビリテーションの基礎英語を知り、理解する。					
【行動目標】	理学療法に関する英単語を読み取り、列挙できる。					
	人体構造や関節運動、基本動作の英単語を読み取り、列挙できる。					
	疾患やリハビリテーションの英単語を読み取り、列挙できる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション・医療従事者について					
2	身体の各部位					
3	位置を表す言葉／上肢・体幹の骨					
4	下肢の骨／身体の筋					
5	運動方向／体位／動作					
6	医学・医療関連用語①					
7	医学・医療関連用語②					
8	医学・医療関連用語③					
指定教科書			参考図書			
なし			リハビリテーションの基礎英語 リハビリテーションの英語の基本用語と表現			
評定方法			準備物・注意事項			
成績：小テストとレポート ※毎回の講義内に小テストを実施			配布資料を忘れずに持参すること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
情報科学		基礎科目	Ⅱ部1年	講義	15	1
担当教員		実務経験				
田中 嵩樹		回復・療養型リハビリテーション病院において整形的理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
実務に即した情報活用ができるよう、基本ツールである表計算ソフト(Excel)、文書作成ソフト(Word)、プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の基本的操作から活用までを学び、また、タッチタイピングの基本を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	メールの送り方が理解できる。					
	タッチタイピングの基本や、数値データの集計・加工方法を習得する。 文書作成の基本を習得し、プレゼンテーションの仕方について理解できる。					
【行動目標】	携帯およびPCからメールを送ることや実用的なタイピングができる。					
	Excelを使い、データの集計、グラフ作成、関数を扱うことができる。 WordやPowerPointを使い、基本的な書式の書類とプレゼンテーション資料を作成できる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション・メールの送り方 タッチタイピングの基本					
2	タッチタイピング①					
3	タイピング課題／Excel①					
4	Excel②					
5	Word					
6	PowerPoint／課題説明					
7	課題の説明					
8	課題の作成と提出					
指定教科書			参考図書			
なし			Word&Excel&PowerPointのスキルが身につく本			
評定方法			準備物・注意事項			
成績：第1～6回講義課題5%×6＋課題70%			USBフラッシュメモリ(1GB以上の空き容量があるもの) 欠席や遅刻等で講義内課題が提出できなかった場合は、翌登校日に 担当教員まで内容を確認し、提出すること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
コミュニケーション学		基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	4
担当教員		実務経験				
藤田 敏実						
講義概要						
人に焦点を当てたコミュニケーションの体験を重ね、関係づくりに大切なことを学ぶ。また、様々なコミュニケーションの考え方や、人の多様性に触れることで、より豊かな関係づくりに生かすことを目指す。						
講義目標						
【一般目標】	相手をサポートするかかわり方を理解する。					
	自分も相手も尊重したコミュニケーションを理解する。					
	人の本質に好奇心を向けることができ、多様性を尊重するということを理解する。					
【行動目標】	自分から話しかけることや、会話を続けることができる。相手の気持ちや考えを引き出すかかわりができる。					
	自分の気持ちを率直に伝えることができ、相手も大切にした伝え方ができる。伝える・伝えないの選択ができる。異なる価値観や考えにも耳を傾けることができる。そのうえで、主体的に行動を選択することができる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション（講義概要、進め方、評価方法等の説明）					
2	コーチング（1）傾聴					
3	"（2）質問①					
4	"（3）質問②					
5	"（4）視点					
6	"（5）認知					
7	"（6）価値観					
8	ソース（1）願望分析					
9	"（2）未来					
10	アサーション（1）NOについて					
11	"（2）怒りについて					
12	前期演習まとめ（1）					
13	"（2）					
14	"（3）					
15	前期まとめ					
指定教科書			参考図書			
PT・OT・STのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
授業内課題 前期50%＋後期50%＝100%			・303教室使用時、開始直後にセッティング、終了直前に現状復帰 ・状況により授業内容を変更することがある 質問は直接受付			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
解剖学Ⅰ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
前田 誠司						
講義概要						
理学療法士として必要な解剖学の知識を解説し、人体の各種器官の構造と機能を理解する。						
講義目標						
【一般目標】	腹部内臓(消化器・泌尿器)の構成および機能を理解する。					
	感覚器系の構成と機能を理解する。					
	人体の各種内臓の位置関係を理解する。					
【行動目標】	腹部・骨盤内臓(消化腺、泌尿生殖器系)の構成および機能を説明できる。					
	感覚器系の構成および機能を説明できる。					
	各種内臓の体腔内での位置関係を概説できる。					
回数	授業内容					
1	解剖学総論:人体の概要					
2	解剖学総論:人体の構成(細胞)					
3	解剖学総論:人体の構成(組織と器官)					
4	呼吸器系1:呼吸概要、鼻腔、咽頭、喉頭					
5	呼吸器系2:気管、気管支、肺					
6	呼吸器系3:呼吸のメカニズム、縦隔と胸膜					
7	循環器系1:循環器系の概要、心臓の構造					
8	循環器系2:動脈系(頭部、体幹の動脈)					
9	循環器系3:動脈系(四肢の動脈)					
10	循環器系4:静脈系					
11	循環器系5:リンパ系(リンパ循環とリンパ系器官)					
12	消化器系1:口腔、咽頭(嚥下のメカニズム)					
13	消化器系2:食道、胃					
14	消化器系3:小腸、大腸					
15	前期まとめ					
指定教科書			参考図書			
標準理学療法学・作業療法学 解剖学(医学書院)			坂井 建雄(著)プロメテウス解剖学 コア アトラス			
評価方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%+後期50%=100%			指定教科書および講義で配布資料は必携である。 Eメールでの質問可。質問者の①クラス、②氏名、③質問内容を明確に示すこと。 連絡先:maedas@hyo-med.ac.jp			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
解剖学Ⅱ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
田中 嵩樹		回復・療養型リハビリテーション病院において整形的理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
人体の解剖学的構造を理解し、骨や筋の基本から形状や位置関係、支配神経を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	理学療法に必要な骨、筋、神経の解剖学的構造を理解する。					
	体表上から触れる骨や筋を骨模型から想定する。					
	体表上からランドマークや筋の走行を理解する。					
【行動目標】	ランドマーク、筋の起始、停止、支配神経を選択または記述できる。					
	筋の特徴や位置関係・断層構造を選択または記述できる。					
	骨格筋の起始、停止を考慮して、筋テープを作成できる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション 全身解剖 骨総論					
2	関節と筋の構造と形態					
3	肩甲骨・鎖骨 触診と模型作成					
4	上腕骨・前腕 触診と模型作成					
5	手根骨・指骨 触診と模型作成					
6	第1回 中間テスト 筋総論					
7	体幹と肩甲帯を連結する筋群					
8	ローテーターカフ					
9	三角筋・上腕筋・上腕二頭筋・上腕三頭筋					
10	肘関節をまたぐ前腕掌側の筋群					
11	肘関節をまたぐ前腕背側の筋群					
12	手内在筋群					
13	腕神経叢～手指までの末梢神経①					
14	腕神経叢～手指までの末梢神経②					
15	前期まとめ					
指定教科書			参考図書			
標準理学療法学・作業療法学 解剖学			解剖学アトラス 骨格筋の形と触察法 プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系			
評価方法			準備物・注意事項			
成績：中間テスト2回(50%)＋定期試験(50%)＝100%			予習済み骨筋ノート、はさみ(模型作りに使用) 3色(赤・青・緑)ペン			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
生理学Ⅰ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
飯 春菜		回復期リハビリテーション病院において中枢疾患系・内部障害理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
内臓系(前期:呼吸器・循環器 後期:消化器・内分泌腺・泌尿器・血液)のしくみと働きについて、理学療法士として必要な基礎知識を身につける。また、疾患学・症候学につながる基礎知識を深める。						
講義目標						
【一般目標】	・各臓器の生理学的役割を理解する。					
	・ホメオスタシス(恒常性)を理解する。					
	・正常な機能が破綻した場合、どのような状態になるかを理解する。					
【行動目標】	・各臓器の機能について説明および選択できる。					
	・ホメオスタシス(恒常性)について、正常と異常の違いを説明および選択できる。					
回数	授業内容					
1	生物基礎 : 生物の分類、異化と同化					
2	生物基礎 : 代謝・呼吸・循環					
3	生物基礎 : 血液・消化					
4	生物基礎 : 自律神経・ホルモン					
5	第1回 中間テスト 呼吸器 : 呼吸器の構造、サーファクタント					
6	呼吸器 : 呼吸運動、肺気量					
7	呼吸器 : 血液によるガス運搬、呼吸調節					
8	呼吸器 : 呼吸調節(酸塩基平衡・呼吸中枢)					
9	循環器 : 循環器の構造、体循環・肺循環					
10	循環器 : 心周期、刺激伝導系					
11	循環器 : 血流と血管					
12	循環器 : 循環の調節(心臓の調節)					
13	循環器 : 循環の調節(血管の調節、血圧の調節)					
14	自律神経 : ホメオスタシス、フィードバック					
15	前期のまとめ					
指定教科書			参考図書			
PT・OTビジュアルテキスト専門基礎生理学			カラーイラストで学ぶ生理学 PT・OTのための生理学テキスト 新訂版 図解ワンポイント 生理学			
評価方法			準備物・注意事項			
#REF! 成績 : 中間テスト2回(50%) + 定期試験(50%) = 100%			配布資料を忘れずに持参すること 講義中は必ずメモを取ること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
生理学Ⅱ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
大野 京介		急性期病院において整形・中枢神経系理学療法中心に6年間従事。				
講義概要						
神経の伝導と伝達のしくみや働き、筋収縮と運動制御のしくみについて学習し、疾患学、症候学の理解につなげる。						
講義目標						
【一般目標】	イオンの移動と活動電位発生のしくみを理解する。 筋収縮のしくみとエネルギーの産生方法を理解する。 反射弓と脊髄反射を理解する。 脳神経の働きを理解する。					
【行動目標】	輸送の種類と活動電位発生のしくみについて説明できる。 筋収縮のしくみとエネルギーの産生方法を選択できる。 脊髄反射のしくみと役割を説明できる。 脳神経の名称および働きを選択できる。					
回数	授業内容					
1	神経系概要					
2	細胞膜の構造・物質輸送 静止電位と活動電位					
3	興奮の伝導①					
4	興奮の伝導②					
5	第1回 中間テスト 脊髄反射①					
6	脊髄反射②					
7	興奮の伝達					
8	脳神経①					
9	脳神経②					
10	筋の種類と構造					
11	筋収縮のしくみ①					
12	筋収縮のしくみ②					
13	細胞のエネルギー源					
14	筋線維の種類、運動単位					
15	生理学Ⅱ まとめ					
指定教科書			参考図書			
PT・OTビジュアルテキスト専門基礎生理学 病気がみえる vol.7 脳・神経			図解ワンポイント 生理学 人体の構造と機能 メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 新版 生理学			
評定方法			準備物・注意事項			
成績：中間テスト2回(50%)＋定期試験(50%)＝100%			配布冊子を忘れずに持参すること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
運動学Ⅰ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
高橋 眞太郎		回復期・生活期の運動器・中枢神経疾患の理学療法業務を中心に5年間従事				
講義概要						
身体 の 運動や動作が理解および表出できるように、運動器の構造と機能および身体運動のメカニズムを力学的および科学的視点で学習する。また、それらの病態力学についても学習する。						
講義目標						
【一般目標】	生体力学、身体運動に関連する身体構造や心身機能を理解できる。					
	関節の構造・機能およびその病態、関節運動に関与する骨格筋の収縮様式およびその病態を理解できる。 身体運動(姿勢・動作)の運動学的・運動力学的要素およびその病態を理解できる。					
【行動目標】	生体力学的・運動学的・運動力学的用語およびその病態について説明および選択できる。					
	関節の構造機能およびその病態、骨格筋の関与やその病態について説明および記述できる。 身体運動(姿勢・動作)に与える影響を身体構造・心身機能から記述および選択できる。 身体に働く運動学的・運動力学的影響を算出できる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション、運動学総論					
2	運動面と軸、関節運動の表し方					
3	関節の基本構造<関節包、関節軟骨等>					
4	関節モーメント<てこの原理> 身体運動における筋の働き<収縮様式>					
5	肩関節総論 <胸鎖・肩鎖・肩甲上腕関節>					
6	肩関節の運動 <肩甲上腕リズム、肩関節外転運動等>					
7	肩甲帯および肩関節の筋 <rotator cuff、フォースカップル等>					
8	肩関節の病態 <脱臼、インピンジメント、翼状肩甲等>					
9	肘関節総論、肘関節の運動 <腕尺・腕橈・近位橈尺関節等>					
10	肘関節、前腕の筋 力とは<ニュートンの法則等>					
11	筋張力、OKC・CKC 肘関節の病態<野球肘等>					
12	手関節総論 <橈骨手根・手根中央関節、TFCC等>					
13	手指総論<手根中手・指節間関節等> 手関節・手指の筋					
14	手指の運動と筋<テノデシス作用等> 手指の変形等					
15	上肢の末梢神経障害 <橈骨・尺骨・正中神経麻痺>					
指定教科書			参考図書			
身体運動学 関節の制御機能と筋機能			基礎運動学 筋骨格系のキネシオロジー シンプル理学療法学 作業療法学シリーズ 運動学テキスト			
評定方法			準備物・注意事項			
前期: 中間テスト1回(50%)＋定期試験(50%)＝100% 後期: 中間テスト1回(50%)＋定期試験(50%)＝100%			いかせん骨筋ノート(解剖学Ⅱで配布予定)、3色(赤・青・緑)ボールペン、 3色(赤・青・緑)蛍光ペン、指定教科書を持参すること 授業中は必ずメモをとること 実技教室ではクリップボードを使用すること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
リハビリテーション学		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
山根 好史		療養病床、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどで地域理学療法を中心に10年従事。併行して整形外科外来で定期的に25年従事。				
講義概要						
リハビリテーションについて総論として広く学ぶ。リハビリテーションとは、理学療法士とは何なのか。チームリハビリテーションと他職種連携、医療と福祉におけるリハビリテーションのありかた、リハビリテーションの対象となる人々とそのかかわり方など、自分がセラピストとして働いていくうえでベースとなる知識を身につけていく。						
講義目標						
【一般目標】		「リハビリテーション」の言葉の意味、理学療法士や他職種の役割を知る。 リハビリテーションを進めるうえで必要な幅広い知識を身につけることの重要性を理解できる。 障害の捉え方、チームリハビリテーションの重要性、リハビリテーション職としてのかかわり方を知る。				
【行動目標】		医療現場で用いられる専門用語を適切に読める。 医療現場で用いられる専門用語を適切に記述できる。				
回数	授業内容					
1	○オリエンテーション ○グループワーク「リハビリテーション」					
2	A1 「リハビリテーション」とは何なのか					
3	A2 リハビリテーションの領域					
4	A3 リハビリテーションマインド					
5	○講義内試験① A4 廃用症候群とは					
6	A4 廃用症候群とは					
7	A5 回復期リハビリテーション					
8	A5 回復期リハビリテーション					
9	A6 生活期リハビリテーション					
10	○講義内試験② A8 リハビリテーション科医					
11	A9 理学療法と理学療法士					
12	A9 理学療法と理学療法士					
13	A10 作業療法と作業療法士 A11 言語聴覚療法と言語聴覚士					
14	A12 リハビリテーション看護 A13 医療チーム					
15	○講義内試験③ ○臨床実習について					
指定教科書			参考図書			
リハビリテーション総論			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
前期3回の講義内試験を合算して100点に換算 前期50%＋後期50%＝100%			教科書は必ず毎回持参すること 毎講義終盤に、専門用語の発声・記載練習を行う			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法概論		専門科目	Ⅱ部1年	講義	30	1
担当教員		実務経験				
石津 孝晃		療養型病床を有する維持期病院で地域理学療法を中心に6年間従事。				
講義概要						
理学療法の概念や基礎知識を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	理学療法の法律、適正、職域について概要を知る。					
	理学療法の対象と領域、技術、思考過程について概要を知る。					
	障害の分類、リスク管理、社会保険制度について概要を知る。					
【行動目標】	理学療法の法律、適正、職域について選択・記述・説明できる。					
	理学療法の対象と領域、技術、思考過程について選択・記述・説明できる。					
	障害の分類、リスク管理、社会保険制度について選択・記述・説明できる。					
回数	授業内容					
1	日本の理学療法					
2	理学療法士の適正とは					
3	理学療法士法及び作業療法士法					
4	理学療法士の職域					
5	理学療法士の組織と世界の理学療法					
6	理学療法士の関連職種					
7	理学療法を構成する技術					
8	疾患と障害の分類					
9	理学療法士の思考過程					
10	理学療法評価					
11	理学療法士の諸記録					
12	医療事故とリスク管理					
13	医療保険と介護保険					
14	卒前・卒後教育					
15	まとめ					
指定教科書			参考図書			
なし			シンプル理学療法学シリーズ 理学療法概論テキスト PT・OTビジュアルテキスト 理学療法概論			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 100%			配布冊子を忘れずに持参すること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅰ		選択科目(必須)	Ⅱ部1年	演習	30	2
担当教員		実務経験				
高橋 眞太郎		回復期・生活期の運動器・中枢神経疾患の理学療法業務を中心に5年間従事				
講義概要						
理学療法の根幹をなす、基礎医学(特に、解剖学・生理学・運動学)を演習形式で重点的に学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	理学療法に必要な解剖学の領域を知る。					
	理学療法に必要な生理学の領域を知る。					
	理学療法に必要な運動学の領域を知る。					
【行動目標】	理学療法に必要な解剖学の演習問題に対して記述できる。					
	理学療法に必要な生理学の演習問題に対して記述できる。					
	理学療法に必要な運動学の演習問題に対して記述できる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション、問題演習① 生理学					
2	問題演習② 解剖学					
3	問題演習③ 生理学					
4	問題演習④ 生理学					
5	問題演習⑤ 解剖学					
6	問題演習⑥ 運動学					
7	問題演習⑦ 生理学					
8	問題演習⑧ 運動学					
指定教科書			参考図書			
なし			解剖学、生理学、運動学で使用している教科書すべて			
評価方法			準備物・注意事項			
講義内演習問題100%			解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰで用いている教科書・配布資料・ノート等を持参すること 担当教員：飯春菜、田中嵩樹、大野京介を含む			